



## BOOK REVIEW

鷺谷好輝

# UNIXインターネットの ノウハウ

今月号では、インターネット中級ユーザーのためのちょっとした使いこなしテクニックを解説した書籍と、システム管理者向けの書籍の2冊を紹介しましょう。



『インターネット情報生活入門  
ちょっと刺激的な生活のために』

著者名 / グループまたたび 出版社 / 技術評論社  
頁数 / 214頁 価格1700円  
ISBN : 4-7741-0072-2

「インターネットをみんなで楽しく使いこなそう」という主旨のもとに作られた本書は、対象読者をUNIXでのインターネット環境にすっかり慣れた人に絞り、インターネットのちょっと凝った利用方法に関するノウハウを紹介した書籍だ。ただし、いわゆる使い方一辺倒の解説本ではなく、インターネットを利用するうえでの環境設定の話や、一般のユーザーにはまだ耳慣れないゲームも紹介されている。著者である「グループまたたび」の方々が本書を「小ネタ集」と表現しているように、一歩進んだ使い方や情報を手に入れたい人には面白い内

容の本といえるだろう。

実際に日々インターネットを利用しているグループの手によって書かれただけあって、説明されている内容は、初歩的なことから意外と高度なテクニック（普通にインターネットを使っていて満足しているユーザーではなく、システム管理者が知っていればいいこと）まで多岐にわたっている。たとえば、コラムとしてnslookupやMXレコードの話などが出ているので、UNIXをバキバキに使っている人が、ネットワークサービスのシステムについて詳しくないと理解できないだろうなと思う内容もある。ただし、用語がわからなくても平易な文章で書かれているので、「こんなことができる（調べられる）んだ〜」という小技の感触はつかめるはずだ。

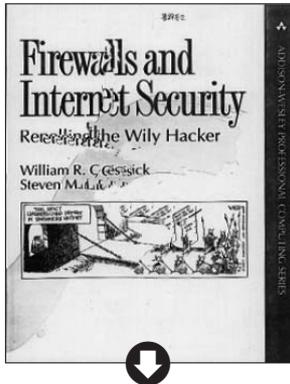
本書全体は、インターネットサービスとして、「Mail」、「News」、「WWW」、「FTP」、「IRC」が、それぞれ独立した章として解説されている。このうちWWWというのは、すでにインターネットマガジンの読者ならご存じのことだろうが、数あるインターネットサービスの中でも超有名なりソースの1つで、さまざまなコンピュータ機種に移植されている情報ブラウザMosaicを使って眺めるハイパーテキスト風の情報ドキュメントだ。また、IRCというのはInter-

net Relay Chatの略で、パソコン通信でよくやるチャット（キーボードから文章を打ち込んでペチャクチャお喋りする機能）のインターネット版と思えばいいだろう。

これらインターネットサービスの各章には、メーリングリストの作り方やニュースの管理・運営方法、anonymous FTPの使い方と設定の仕方など、細かい実際的な話もちりばめて解説されている。特にWWWの章では、まず世界各地にある有名なWWWサーバの紹介と、簡単なMosaicの使い方を説明した後に、WWWのページを作るためのコンピュータ言語であるHTML（HyperText Markup Language）についても解説している。HTMLのコーディング例とサンプルが掲載されているので、大学の講義でWWWのページを課題として作られているインターネットの右も左もわからない学生の方には便利だろう。もちろん、他のサイトに見せなくても、自分専用のちょっとしたホームページを作るのにも役立つ。わざわざinfo@cern.chからHTMLのドキュメントを引っ張ってこなくても、本書の解説を読めば、ある程度のものならちょこちょこつと作れるはずだ。

またサービス以外には、「Amusement」、「Security」、「Moral & Manner」、「For The Future」という章分けて、ゲーム、セキュリティとエチケット、それにインターネットの将来についても触れている。ゲームを解説している章では、インターネットのダンジョンアドベンチャーと称されるMUD（Multi User Dangeon）に関してもちよつとだけ話が出ている。

解説の文体や手法は好みの分かれるところだが、お堅い内容のインターネット入門書やハイエンドユーザー向けの解説書（プロトコルの詳しい定義やパケットの構成などを延々と述べた書籍という意味）が多い中で、本書はとっつきやすくスラスラ読めるので、インターネット「中級ユーザー」にお勧めできる。



『Firewalls and Internet Security  
Repelling the Wily Hacker』

著者名：William R. Cheswick & Steven M. Bellovin  
出版社：Addison Wesley Publishing Company  
頁数：306頁 価格U.S.\$26.95  
ISBN：0-201-63357-4

本書はAddison Wesley社から出版されているProfessional Computingシリーズの中の一冊で、表題からわかりるとおり、自分が管理しているLANをインターネットに接続する際に外部からの不法進入を防ぐためのFirewall（日本では「防火壁」とも呼ばれている）というゲートウェイと、それを乗り越えてでもさらにシステムに潜り込もうとしてくるクラッカーの手口を紹介した書籍だ。UNIXワークステーションでのネットワーク管理についてある程度経験を積んだ人を読者対象としているが、クラッカーに興味を持っていたり、これからネットワーク管理を任される人にとっても、UNIXの基本的な知識が身につければ、十分に面白く読みごたえのある技術解説書となっている。

本書の構成は、まず最初に混同されがちなハッカーとクラッカーの違いを定義し、その後で、インターネットの公用語といっても差し支えないTCP/IPプロトコル群の歴史とその種類を簡単に説明することから始まって、Firewallの必要性とその種類、クラッカーの侵入手口とその実録、セキュリティ全般に関する話題、いわゆる

Authentication（認証方法）について、さらには暗号化システムに関しても触れている。有名なInternet Wormの話も出ていて、デーモンのfingerdにあったセキュリティホールを介してInternet Wormが蔓延したことも紹介されている。また、MITのX11やCMUのAndrewといったウィンドウシステムに関する注意や、同じアテナプロジェクトの産物であるAuthenticationのKerberosについても書かれている。

また、随所に爆弾マークのついたパラグラフが設けられていて、ここにはクラッカーに狙われやすい危険なコマンドやシステムのセキュリティホールなどについて簡単な注意が述べられている。さらに、コラムもいくつかあり、セキュリティに関連する話がメインだが、いずれも管理者でないインターネットの一般ユーザーが読んで考えさせられてしまう話題ばかりだ。たとえば、パスワードはどれくらいの長さが適切かとか、ハッキングしてくるハッカーがいるのなら逆にそのハッカーを雇ったらどうかとか、さらにはセキュリティに関する問題をネットや書籍でオープンに話し合ってもいいものかどうかといった内容のコラムもある。

ぼんやりと読んでいて特に面白かったのが、第10章の「An Evening with Berferd」だ。この章は、湾岸戦争の時期に著者が勤務しているAT&Tのマシンにクラッカーが侵入してくる手口を、まるでCliff Stoll氏の有名な『カッコウはコンピュータに卵を産む』のようにビビッドに描いている。アタック（システムに不法に入り込もうとする攻撃のこと）を仕掛けてもなかなか侵入できないクラッカー（コマンドの打ち間違え

などがあるのでプロではないのだろう）がライラして、しまいにはrm -rf /&というコマンドをsendmailで叩きつけてきたログには、読みながらお腹をかかえて笑ってしまった。こんなことをしても、ルートから綺麗さっぱりファイルが消えないのだが、なんと大胆なクラッカーの行為に対して、筆者の「WHOA!」という表現はぴったりだ。日本のシステム管理者なら、さしずめ「きゃ〜！」と発するのだろうか.....

全体として、格別に目新しいセキュリティ方法やクラッカーの手口は紹介されておらず、また、クラッカーがUNIXのどこを突っついてくるのかは述べられているが、それに対処する実際のセキュリティ方法に関しては参考意見や簡単な説明にとどまっています。詳しい設定例などは載せられていない。これまでに海外のコンピュータ雑誌（一般の情報誌ではなく、Communication of ACMやAT&TのTechnical Journalのような専門機関誌など）に発表された資料を組織立ててコンパクトにまとめた形態だが、この手の話題の書籍が今までに出版されていなかったのも、貴重な一冊と呼べるだろう。もちろん、巻末には文中で引用した文献リストや、インターネットからanonymous FTPで入手できるセキュリティツールの一覧表が掲載されているので、本書を読んでさらにセキュリティについて勉強したい方には打ってつけだ。

なお、日本にはFirewallとシステムのセキュリティを専門に研究しているファイアーウォール研究会というグループがあって、いずれ近いうちに、本書の翻訳本をそのグループの方々が出してくださることと思う。



第1回目で御紹介した洋書の中で、次の書籍はすでに改訂版が出版されていました。記載した情報が古かったことをお詫びし、訂正致します。

『Internet Starter Kit for Macintosh Second Edition』  
著者名 Adam C. Engst & Corwin S. Low & Michael A. Simon  
出版社 Hayden Books  
頁数 608頁 価格 U.S.\$29.95 ISBN：1-56830-094-8





## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)